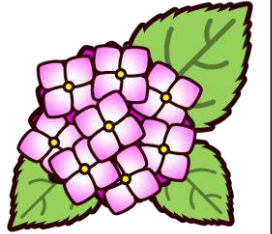


新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの



温泉も

絵画もせこい

ますぞえさん
(はるみのワクワク川柳)

県に謝罪と再整備約束させる

うしろやま
後山地区環境公共事業

この事業は久渡寺の後山ため池整備事業と隣接する坂元のビオトープ事業(ホテル池)を青森県が一体に進めました。今回この事業でI氏保有のホテル池隣の休耕地が掘りみだされ、その上ホテル池の水が流入し作物の植え付けが出来ない状態になっていました。最初県はこの事実を認めませんでした。この間の交渉でこれらの事実を認め謝罪し、休耕地の整備を行い畑地として回復させることを約束させました。

1600万円かけたホテル池に虫はくるのでしょうか。管理は弘前市が行っています。



6月2日 全国一斉宣伝行動女性後援会の方々と共に

5月20日
商工労働観光エネルギー委員会にて質問

●住宅用太陽光発電設備導入状況と市町村の助成制度は

エネルギー開発振興課長「県内では稼働済みが8千728件、設備容量で3万7千412キロワット。青森市など11市町村が助成制度を設けている(弘前市は含まれない)」

●再処理の新たな実施主体となる使用済み核燃料再処理機構の設立に伴い、立地基本協定どうなる

原子力立地対策課長「今後の同機構の設立状況を踏まえ、関係者と協議の上適切に対応していく」と答弁。国会で付帯決議された使用済み核燃料の直接処分等の技術開発についても県の見解を質しました。

●労働委員会委員に連合系組合の者のみ就任させているのは不公平

労政能力開発課長「推



5月23日~24日
商工労働観光エネルギー委員会で県内調査
◎グリーンエネルギー鱒ヶ沢の風力発電の取組
◎五所川原市南部土地改良区のため池による小水力発電の取組
◎青森職業能力開発短期大学校などを調査

(紙面の都合上内容の一部しか報告できませんが詳細は県のホームページで見ることが出来ます。安藤はるみのホームページにも順次アップしています)

●障害者雇用の促進

労政能力開発課長「障害者雇用の対象は50人以上を雇用する企業で2%の法定雇用率の適用となる。県は障害者雇用促進加速化事業を実施し支援している」



5月25日 国立大学運営費交付金減額の影響について調査
弘前大学学長佐藤敬氏(左)と弘前大学職員組合委員長小磯重隆氏(右)と懇談



ほつとタイム



弘前大学で懇談

日本共産党の改革提案の一つに税金の使い方を変えるというのがあります。社会保障を最優先にという提案で、その中に大学授業料を10年後に国立大学は現在の54万円を27万円に、私立大学は現在の86万円を43万円に、給付型奨学金の創設、国立大学運営交付金を減らさず教育予算を大幅に増やしていく...という提案です。

先日、日本共産党の提案を持参し、弘前大学佐藤敬学長と小磯重隆教職員組合委員長にそれぞれお会いし懇談してきました。学長は、「弘前大学は寄付金や受託研究等の努力が実り交付金が増えた。授業料は1万円下げたいくらいだ。滞納が理由で辞めていく人が毎年何人かいる。今後値上げがあったとしても最後にしたい」と語られました。

職組委員長は「文科省の方針で文系が縮小し、理系が拡大されているが工業系の就職先が少ない青森県では結局県外への就職者が増やす結果になる。弘前大学は交付金プラス(107%)となったが大学の裁量が狭く学生支援は目減りし、教員の研究費は半分になった。教員は年俸制を前提に募集している。年俸制は年間800万円円で扶養手当・寒冷地手当・住宅手当もせず、退職金なし。所得税は増え年金掛け金は最高でいろいろ大変な面がある。」と国立大学の厳しさが語られました。大学の変容に驚きました。こうしたお話をさっそく議会に役立たせていきたいと思えます。

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。5月の相談対応9件。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
10:00~15:00(土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

5月のホームページアクセス数
24,400件

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/